

2014年9月吉日

各位

2014年度 海外視察について

天然ガス自動車フォーラム事務局

拝啓、初秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、天然ガス自動車フォーラムでは、全日本トラック協会の福本理事長を団長とする海外(欧州)視察を検討しております。しかしながら、出発日が近づいているものの、欧州が休暇シーズンのため訪問先の確定が未だ出来ておりません。近日中には旅行会社からのご案内をお送りできる予定ですが、下記の通り概略(予定)を正式のご案内に先立ってお知らせいたしますので、ご参加のご検討をお願いいたします。

敬具

記

●目的

これまで世界のNGV(天然ガス自動車)普及は、新興国でのガソリン車の改造車を中心であったが、最近、先進国や中国でOEM車(メーカー製作車)の普及が進んでいる。このうち、大型貨物車については、長距離走行車を中心に、LNG(液化天然ガス)車の普及も進んでいる。今回は、日本と同様にLNGの輸入国であり、LNG車普及の取り組みが進んでいる英国とスペインを訪問し、先進的な取組事例を学び、今後の日本でのLNG車普及に向けての参考とする。

●視察期間 平成26年10月12日(日)～10月19日(日) 8日間

●視察先 英国・スペイン

●内容(訪問先)

(1) 英国

政府の補助により、'Low Carbon Truck and Refueling Infrastructure Demonstration Trial' というプロジェクトが2012年より始まっている。これはデュアル・フュエル\*LNG車を中心とする大型トラックを13のプロジェクトで354台導入し、18箇所のスタンド(LNG:5箇所、CNG:2箇所、LCNG:10箇所、廃食用油:1箇所)を新設し、トラックの初期導入とインフラ建設を進めるものである。2014年6月に第一回目の報告書が政府に提出されている。プロジェクトの推進母体である、CENEX(非営利コンサル会社):<http://www.cenex.co.uk/about-us/> を訪問し、プロジェクトの実施状況をヒアリングし、スタンド、運送事業者等を訪問する。

\*デュアル・フュエル:天然ガスを主燃料とするディーゼルサイクルエンジンで、天然ガス混合気が圧縮されて高温高圧となったところへ、少量の軽油を噴射し、この軽油の自発火により混合気に着火する、ディーゼルエンジンと同様の高効率エンジン

(2) スペイン

欧州委員会が進める、EUの欧州横断の大規模インフラ政策「Trans-European Networks (Ten-T Core Network)」のプロジェクトの一つとしてスペインにおけるLNGトラックの推進プロジェクトである、Gas as an Alternative for Road Transport(GARnet)プロジェクトが2012-2014年の間に実施されている。このプロジェクトでは、定置式LNGスタンドを4ヶ所、可搬式LNGスタンドを3基導入し、これらを利用してLNGトラックによる貨物運送実証実験を実施する。プロジェクトを推進するHam Criogenica社を訪問し、プロジェクトの実施状況をヒアリングし、スタンド、運送事業者等を訪問する。

- 費用 60～70万円程度（エコノミークラスの場合：ビジネスクラスは+65万円程度）
- 募集人員 15～20名程度（先着順受付）
- 募集期間 9月中旬予定（正式募集に先立ち、事前に申し込み頂くことも可能です。）
- 旅程

10月	行程	宿泊地
12日（日）	日本発ーロンドン着	英国
13日（月）	プログラム推進団体訪問	英国
14日（火）	スタンド・運送事業者訪問	英国
15日（水）	スペインへ移動	スペイン
16日（木）	プログラム推進団体訪問	スペイン
17日（金）	スタンド・運送事業者訪問	スペイン
18日（土）	日本へ出発	機中
19日（日）	日本着	

以上

<<お問い合わせ先>>

天然ガス自動車フォーラム事務局  
（一社）日本ガス協会内  
岩永幸効、平瀬裕介  
TEL：03-3502-0215